

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

地域の審判員指導を担当しています。2級審判講習のときの質問です。

「サーブのときボールは必ず2個持って(ポケット又はボールホルダーを含む)行わなければいけないでしょうか?ハンドブックにはサーブを行う際には、ボールを2個持って行うことは規定されていませんが、どうして2個持たなければいけないのか」と質問されました。

私の回答は、確かに競技規則等には書いてありませんが、競技規則15条にマッチの開始から終了まで連続的にプレーするとあり、サーブの時1個だけボールを持ち、もう1個のボールをフェンスの方に置き、第1サーブがフォルトの場合、2個目のボールを取りに行くなどして、連続的にプレーすることに違反するとアンパイヤーが判断すれば、連続的にプレーするためにボールを2個持ってマッチを行うように指導(注意)し、従わなければイエローカードになると伝えました。それでよろしかったでしょうか?

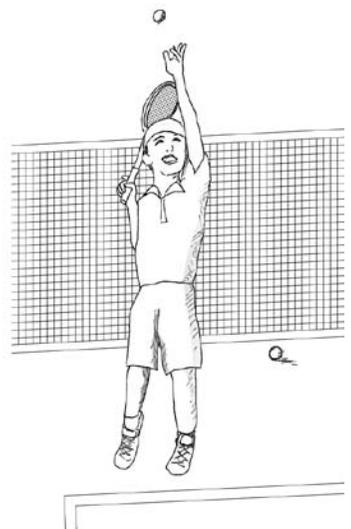
Answer

サーブの際ボールを必ず2個持つ、の決まりはないが、状況によっては大会運営上ルールに抵触する場合があります。

一見イエローカードに至ると思われるかもしれませんがそればかりではありません。一般的には第1サーブを行う際、ボールを2個持つのが通常ですが、初心者等は指導を受けてサーブに用いないボールを手に持つ場合もあるし、ポケットなどに入れることもあります。ところが、サーブに用いないボールをどうするかについては、競技規則では全然触れていませんね。それ以前の問題として、マッチを行うのにボールを2個使わなければならないという表現もありません。競技規則第21条(サーブの時期)に、「サーブは正審のコールがあった後、レシーバーに用意が出来ていることを確認して、すみやかに行わなければならない」とあります。詳しくいいますと、正審のコール(「プレーボール」、ポイントカウントのコール、ゲームカウントのコール、「フォルト」「レット」のいずれか)を聞き、レシーブサイドの2人に用意が出来ているのを確認してから、サーブをしなければならないとあります。また、競技規則第15条(プレーヤーの心得)の第2号には、「マッチの開始から終了まで連続的にプレーし、」とあります。例えば、サーブをするプレーヤーのパートナーが1個ボールを持っていて、第1サーブがフォルトになるとそのパートナーからボールを受け取って第2サーブを行う時にパートナーと相談するなどは、連続的にプレーに違反する場合もあると考えられます。

さて、ソフトテニスは、従来からサーブの際ボールは2個持ってサーブをするように指導がなされてきているようですが、小学生の大会等でサーブの際にボールを足元に置いてサーブをしている状況を時々見受けられることがあります。その時にボールを足元に置いてはいけないとアンパイヤーから注意されていない事です。ご質問は当然でしょう。今回問題になっている罰則に至るケースより、風が吹いたりしてコート内に転がっているボールに、相手が打ってきたボールが自分達のコート上に転がっているボールに当たり返球出来ない事で失ポイントになり不利になることがあります。この事からサーブに用いないボールは手に持つように指導されているようですし、コート上に転がっているボールはネットのそばに移動させている光景をよく見受けれます。

ところで、サーブをする際ボールが1個しか持てない期間はそう長い期間ではないと考えますと、見逃されているように思います。時に、風等によってボールがどこかに転がっていきマッチの進行に影響する場合があります。それ以外は、サーバー側によい事はないと思われるので、指導者も気をつけてサーブをする際は、ボールを2個持ってサーブが出来る様に指導して下さっているようです。今後も、ご指導よろしくお願ひします。



【関連規則】

競技規則第15条(プレーヤーの心得)(2)

競技規則第21条(サーブの時期)

競技規則第25条(サーブのフォルト)(3)、【解説10】2
ジュニア審判マニュアル

4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと(心得)(2)

7. サーブ(5)③